

【基本施策4】 区民が主体的に参画し、コミュニティ形成につながる地域スポーツ環境の整備

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
25	【重点事業】総合型地域スポーツクラブの設立		
事業概要	多世代・多種目・多志向の特徴をもった、地域住民による自主的、主体的に運営されるスポーツクラブを全地区設立する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都主催の総合型地域スポーツクラブ育成セミナーに区職員・目黒区スポーツ推進委員が参加し、総合型地域スポーツクラブについての理解を深めた。 ・スポーツクラブ設立準備PT部会で作成した報告書に基づき検討を進めたが、クラブの設立や設立後の運営について様々な課題を解決する必要があり、今後の検討に一定の期間を要する旨を、目黒区スポーツ推進委員協議会、目黒体育協会、スポルテ目黒、指定管理者に説明し、了承を得た。 		
評価の理由	・総合型地域スポーツクラブの全地区展開に向けて、設立のための部会を定期的に開催したことは評価できるが、具体的な設立時期等については、まだ十分に検討が必要である。		
課題など	・総合型地域スポーツクラブの設立に当たっては、活動の場の確保、人材・スタッフの確保、設立に係る資金の確保等の課題がある。これらの課題の解決については、今後改めて検討を進めていく必要がある。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
26	モデル事業に対する支援		
事業概要	スポルテ目黒の活動を区のモデル事業として、活動の場の提供、その他を通じてその活動を支援する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①日常活動の場の提供 碑文谷体育館・庭球場・野球場、南部地区プール、五本木小学校体育館、中央地区プール、鷹番小学校体育館 ②クラブハウスの提供 ③HP活動支援、クラブ運営への助言指導 ④会員数の拡大 945人 ⑤各体育館において、スポルテ目黒のチラシ、案内設置など、活動の支援を行った。 		
評価の理由	・場の提供、活動支援等を継続して行った結果、区民のスポーツ機会の拡大が図られ、延べ参加人数、会員数とも安定した数値となっている。		
課題など	・スポルテ目黒を運営していくに当たって、人材の確保が課題であり、支援のあり方については引き続き検討していくとともに、今後総合型地域スポーツクラブを他地区へ展開していくに当たって、モデル事業として運用してきたノウハウをどのようにフィードバックさせていくかが課題である。		

		所属名	生涯学習課
事業No.	事業名		
27	申請社会教育学級の実施		
事業概要	区内の社会教育関係団体が行う自主的かつ系統的学習について、団体の申請に基づき、申請社会教育学級に指導者を派遣し、団体が行う社会教育活動の発展を図る。結成後5年未満の団体と教育委員会が定める課題について学習する団体の学習計画に基づき、1学級について6回を限度として指導者を派遣する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
平成30年度実績	結成後5年未満の団体6団体(延べ参加者788人)、課題学習団体1団体(延べ参加者27人)に指導者を派遣した。(内スポーツ団体は1団体)		
評価の理由	申請団体数が年々減少している。		
課題など	より多くの団体に申請していただけるよう、さらなる広報が必要である。		

		所属名	生涯学習課
事業No.	事業名		
28	社会教育館まつりの実施		
事業概要	団体の学習成果の発表の場、団体間の交流・親睦の場、地域との交流の場として実施する。利用団体が1年間の学習の成果を展示・発表する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東山社会教育館(31団体参加。内スポーツ団体は4団体) ・中央町社会教育館(31団体参加。内スポーツ団体は7団体) ・目黒本町社会教育館(27団体参加。内スポーツ団体は5団体) ・緑が丘文化会館(26団体参加。内スポーツ団体は6団体) ・青少年プラザ(23団体参加。内スポーツ団体は7団体) 		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育館等を利用する団体は、館まつりを日頃の学習成果を広く地域に発表できる目標として活動しており、地域の区民も毎年楽しみにしている。地域の区民が参加し、コミュニティ形成につながるお祭りとして評価できる。 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営は実行委員会が中心となっているが、新たに委員となる人材を増やすことが課題である。 		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
29	【重点事業】めぐろ10kmマラソン(仮称)大会の実施		
事業概要	「めぐろ桜健康マラソン」を発展・充実させることにより、区内の観光と産業の活性化など地域活力の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成と区民の健康増進を目的にマラソン大会を実施する。実施にあたり関係団体等による組織委員会を設立し、企画・運営を行う。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	平成30年11月25日(日)に第3回大会を開催した。 種目・参加者数:10kmの部 2,783人 2.5kmミニマラソン小学生の部 174人、中学生以上の部 141人、親子ペアの部 181組 1kmウォーキング 87人		
評価の理由	「おもてなし」と称してランナーを対象としたサービスを実施し、区内企業・施設等の協力により、レストランの割引や銭湯利用者へのドリンクサービス、美術館の拝観料無料などを行ない区内の観光と地域の活性、区の魅力発信を図った。		
課題など	区外からの参加者が大会終了後も目黒区に滞在するようにおもてなしサービスの拡大が必要である。区内の飲食店などさまざまな企業・団体が積極的にマラソン大会と関連付けたサービスができるような仕組みを検討していく。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
30	体育祭の充実		
事業概要	広く区民に総合的なスポーツの機会を提供するとともに健康維持増進及びスポーツを通じたコミュニティの形成に寄与することを目的に目黒区体育祭を実施する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	36競技大会を(春・秋・冬)開催し、広く区民のスポーツの推進と健康維持増進を図った。 〈春季大会〉・種目:32種 ・延べ日数:120日 ・参加者数:10,015人 〈秋季・冬期大会〉・種目:32種 ・延べ日数:125日 ・参加者数:9,497人		
評価の理由	関係団体と連携し、少しでも多くの区民が参加できるよう競技大会の日程を調整し、区民が体育祭に参加する機会を提供することができた。		
課題など	体育施設の老朽化が進んでおり、大会を実施するうえで設備の改善を図るとともに関係団体との連携を強化し、体育祭の円滑な運営に努める必要となる。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
31	実行委員会等、多様な区民や団体の主体的な関わりによるスポーツ事業の実施		
事業概要	スポーツ・レクリエーション事業(めぐろスポーツまつり、ウォーキング事業、ラジオ体操、スポーツ広場等)の実施にあたり、実行委員会等、多様な区民が参画できるよう配慮し、関係団体との連携・強化を図る。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	①第18回めぐろスポーツまつり(延べ 2,701名) ②ウォーキング事業 ③ラジオ体操 ④地区スポーツ大会		
評価の理由	・毎年体育の日に、目黒区民を対象に、子どもから高齢者、障害のある方まで誰もが参加できるめぐろスポーツまつりを開催している。平成30年度は、オリンピック・パラリンピック正式種目で目黒区中央体育館が公式練習会場となるテコンドーをアトラクション及び体験教室として実施し、競技の魅力を伝え、楽しめるイベントとなった。 ・各地区スポーツ大会、ラジオ体操及びウォーキング事業を地域住民で構成される団体、実行委員会等と協力して実施することにより、多様な区民が参画できる機会を提供し、関係団体との連携・強化を図っている。		
課題など	・より多くの区民に参加してもらうため、誰でも気楽に参加できるニュースポーツを中心とした種目を選定すると同時にオリンピック・パラリンピックの種目をアトラクションや体験教室として実施することで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図っていく必要がある。 ・引き続き実行委員会等に多様な区民が参画できるよう工夫を凝らし、関係団体との連携・強化を図りつつ、より充実したスポーツ・レクリエーション事業を実施する必要がある。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
32	スポーツ・レクリエーション活動における指導者の発掘・育成		
事業概要	区民のスポーツ・レクリエーション活動をより効果的・円滑に推進するために、指導者育成事業を実施する。 ①スポーツ指導者育成事業 ・スポーツ推進委員研修会 ・指導者養成講習会(スポーツセミナー) ・障がい者スポーツ指導員養成研修(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認) ・水上安全法救助員養成講習会 ②スポーツボランティアの発掘と育成 区立体育施設などでボランティア活動を促し、活動が定着するよう育成を図る。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	区民のスポーツ・レクリエーション活動をより効果的・円滑に推進するために、指導者育成事業を実施した。 ・スポーツ推進委員広域地区別研修会「第3ブロック」(9月)を主催し、基調講演と実技研修を実施した。 ・障がい者スポーツ指導員(初級)養成講習会 : 実施日数10日、受講者数 9人 ・日本赤十字水上安全法基礎講習会 : 実施日数 5日、受講者数 23人 ・スポーツセミナー : 実施日数 1日、受講者数 23名		
評価の理由	・毎年スポーツ推進委員を対象とした全体研修会、障がい者スポーツ指導員(初級)講習会、水上安全法基礎講習会、スポーツセミナー等を実施している。		
課題など	・スポーツボランティアの登録者数がまだ少ないため、指導者養成講習修了者などを対象に制度についての周知を図るとともに、登録者の有効活用を、指定管理者などとも協議して、登録者数を増やす検討をしていく必要がある。		

		所属名	文化・交流課
事業No.	事業名		
33	阿武隈リバーサイドマラソン大会への参加		
事業概要	マラソン大会に区民が参加することで、友好都市の角田市を知ってもらい友好交流関係の推進を図るとともに、区民のスポーツ活動の促進及び健康増進を図る。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	<p>※平成29年度からは、一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会の主催事業 参加者:23名(男性16名、女性7名) 内容:阿武隈リバーサイドマラソンへの参加だけではなく、目黒氏の墓の見学など、角田市の魅力を存分に味わえる内容となり、友好交流関係の推進を図ることができた。</p>		
評価の理由	平成29年度からは、一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会の主催事業となったが、例年同様に参加者に楽しんでいただき、角田市との交流関係の推進を図ることができたため。		
課題など	若者の参加が少なく、今後は幅広い年齢層の参加を促していきたい。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
34	利用者懇談会の実施		
事業概要	利用者等の意見・要望を把握し、区民サービスの向上を図るため実施する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	<p>駒場体育館 ・年1回実施 区民センター体育館 ・事業別 5回実施 碑文谷体育館 ・一般公開 1回実施、教室・講習会 1回実施 中央体育館 ・教室 8教室各1回実施、一般公開 3種目各1回実施 八雲体育館 ・年1回実施 砧球技場 ・年1回実施</p>		
評価の理由	各施設で、一般公開、教室事業等の利用者を対象に懇談会を実施し、利用者からの意見・要望を取り込むことで利用者数の増大につなげるとともに、今後の課題について整理している。		
課題など	利用者懇談会で出された意見・要望について、全てのものが対応可能ではないが、今後の課題として検討していく必要がある。		

所属名	文化・交流課、スポーツ振興課 オリンピック・パラリンピック推進課
-----	-------------------------------------

事業No.	事業名		
35	区関係部局と連携した事業の実施		
事業概要	まちづくりや青少年健全育成など、相乗効果を得られるように配慮するため、区関係部局と連携したスポーツ事業を実施する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (平成30年度末現在)	B:計画目標を達成した
平成30年度実績	<p>①オリンピック・パラリンピック大会記念パネル展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第42回目黒区民まつり(文化・交流課) ・第14回MIFA国際交流フェスティバル(目黒区国際交流協会) ・第9回ティーンズ・フェスタ(区内児童館) <p>②指定管理者事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <駒場体育館> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでダンス(障害者施設あゆみ園、えのき園) <区民センター体育館> <ul style="list-style-type: none"> ・目黒区商工まつり「目黒リバーサイドフェスティバル」(産業経済・消費生活課)にて骨密度測定、足型測定、体組成測定会を行った。測定者数666人 ・目黒シティアランに向けたランニングクリニック開催 3事業55人 <碑文谷体育館> <ul style="list-style-type: none"> ・交流機会事業でスポルテ目黒、碑文谷公園くらぶ、目黒区体指・スポ進OB会、住区住民会議等地域団体の協力を得て実施。 ・区内情緒障害通級学級と連携を図り障害者対象のスポーツ教室の実施。 <中央体育館> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場で住区住民会議とスポーツ推進委員の協力により実施。 <八雲体育館> <ul style="list-style-type: none"> ・ほたる祭りや敬老の日イベントで地域で構成する実行委員会、西部包括支援センターの協力を得て実施した。 <砧野球場・砧サッカー場> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスポーツ教室、ふれあいスポーツ広場を実施。(区内障害者施設主催) 		
評価の理由	<p>①区民まつりやMIFA国際交流フェスティバルにおいてのパネル展を通して、2020年の東京オリンピックに向けた、オリンピックやスポーツへの意識を高めることができ、成果があったと思われる。</p> <p>②地域における区関係部局との関係性を密にして各体育館で事業を実施していることにより、相互理解が深まり、各体育館が地域の構成員としての役割も果たしている。</p>		
課題など	<p>①2020年にむけて区民がオリンピックに対しての知識や意識を高めるための機会が必要になるとと思われる。今後は、区民まつりやMIFA国際交流フェスティバルにこだわらず、他部局や地域の方々と協力しながら事業を展開していきたいと考える。</p> <p>②地域との関係性を増し、より地域と一体となった体育館の運営をしていくため、区関係部局のみならず、新たな地域団体との連携を開拓していく必要がある。</p>		